

2019年原水爆禁止

国民平和行進 和歌山→広島コース

5月7日(火)

橋本市役所前

出発集会 17:20~

—核兵器禁止条約の早期発効を—



左より伊都原水協大城さん、市民生協福永さん、橋本市職関連労組西口さん



横断幕を持つ中央が森川嘉久橋本副市長

10連休明けの5月7日、「和歌山→広島コース」の橋本市で出発集会と平和行進がおこなわれました。集会前に、橋本伊都民商の玉置事務局長と県原水協事務局で秘書広報課を訪ね、ヒバクシャ「国際署名」の役職署名を再要請しました。同時に持参したヒバクシャへの募金箱をお渡して協力をお願いしました。集会では、「県内全市町村平和行進は、1979年に高野山から平和行進が始まった。今年は40年目。記念すべき年です」と県原水協からの挨拶。平木橋本市長のメッセージを森川嘉久副市長が読み上げ、阪本久代市議より連帯挨拶を頂きました。最後わかやま市民生協代表の小泉好香さんが決意表明をおこない、行進に移りました。副市長が横断幕を持って記念撮影にご協力頂きました。また「今年の横断幕はカラフルで好いですね」コメントを頂きました。行進は市役所前広場からR24号線を通りJR橋本駅で折り返します。旧町並の東家(とうげ)通りを歩きました。集会と行進参加者は45人。ヒバクシャ「国際署名」は4筆でした。(新婦人の方も署名をしていました。)募金は4,258円。5月8日は、かつらぎ町の平和行進です。

原水爆禁止和歌山県平和行進実行委員会・事務局